

平成25年度 埼玉県立熊谷高等学校「第2回学校評議員会」議事概要

- 1 日 時 平成26年2月20日(木) 14:00～15:10
- 2 会 場 くぬぎ会館2F
- 3 次 第 (1) 開 会
(2) 校長挨拶
(3) 説 明
 諮問内容
 ア 進学指導の取組と学力・体力・良識の調和のとれた生徒の育成
 イ SSH事業の取組
(4) 意見交換
 ①諮問内容アについて
 ②諮問内容イについて
 ③定時制課程の取組について
(6) 諸 連 絡
(7) 閉 会

4 意見交換の概要 (◎=評議員、○=学校)

① 諮問内容ア・イについて

◎家庭学習の時間を増やすための改善策をどう考えているか。

○課題等を出すことも大事なことだが、課題のみに頼ると指示されたことさえやれば
いいという姿勢にもつながる。自主的・主体的に学習に取り組めるような働きかけ
を具体的に検討したい。

◎職場で「人間力の向上」に取り組んでいる。驚くほどの効果がある。人間力の向上
を図ると他のスキルをアップする。

◎資料にある家庭学習時間のデータは、予備校や塾に通っている生徒の勉強時間も含
まれているのか。

○学校外の講義を受けているという意味で、これらの時間も家庭学習時間のデータに
含まれている。

◎自転車通学は危険ではないか。市民の方々に迷惑をかけていると聞いている。見直
しが必要だ。駅からは歩かせてもいいのではないか。あるいは、通学バスを運行で
きないか。

- 駅からの自転車通学許可は10年前くらいから生徒募集の観点から始めた。自転車の乗り方に問題があることは十分認識している。教員だけではなく生徒も一緒に登校指導をしてきているが大きな改善は見られない。生徒会とも相談していきたい。
- ◎学習に関しては、学校だけで完結するのではなく塾や予備校の助けを借りてもいいのではないか。高校は、刺激を与え方向性を与える場としてあればいいのであって、受験のための勉強やテクニックを身に付けることは自分自身でやればいいのではないか。授業で受験テクニックを教える必要はないと思う。モチベーションを高める授業が必要だ。
- ◎生徒と保護者の要望が、とにかくいい大学へ行かせてほしいということになっている。高校の先生も大変だと思う。
- ◎「人間力」とまでなると難しいかもしれないが、危険な自転車の乗り方がどういう意味を持つかわかる様な人間になってほしい。
- ◎昼休みに通路に置いてある机で勉強している生徒の姿に感動した。
- ◎ここ何年かの取組がどれだけの結果として出ているのか、見ている限りではわからない。
- ◎極論すれば面倒みられるところとそうでないところをはっきりさせていいのではないか。
- ◎ここ数年、この評議員会に出席していて、熊高はよくなっていると思う。
- 狭い分野に特化しない全人教育を目指すのが、もちろん大学受験に必要な力をつけさせことも大事である。

② 定時制課程の取組について

- ◎発達障害の生徒を受け入れる専門の先生も必要ではないか。
- ◎発達障害の生徒の対応はとても難しいと思う。
- 県教委の支援の下、専門家の指導を受けて研修を積んでいる。